

Nabtesco

抑速ブレーキキャスター

CONPAL 2 

取扱説明書

KZ-329005
(NCB-8E-PM)



【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容.....	3
1-1 注意事項.....	3
1-2 ご使用前.....	3
1-3 ご使用場所(場面)の注意.....	4
1-4 ご使用時.....	4
1-5 修理、点検時.....	5
1-6 保管時.....	5
2 機器の特徴と各部の名称.....	6
2-1 機器の特徴.....	6
2-2 各部の名称.....	6
3 日常の点検とお手入れ.....	7
3-1 日常点検.....	7
3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法.....	8
3-3 お手入れ.....	9
4 おかしいなと思ったら.....	10
4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら.....	10
5 諸元.....	11
5-1 製品仕様.....	11

【販売業者向け】

6 販売業者向け内容.....	12
6-1 取り扱い時.....	12
6-2 定期点検.....	13
6-3 歩行車との取り付け方法.....	13
6-4 抑速ブレーキ力調整方法.....	15
6-5 タイヤゴムの交換方法.....	17
7 保証とアフターサービス.....	21
7-1 保証規定.....	21
7-2 免責事項.....	21
7-3 ご注意.....	21
8 耐用期間について.....	22
8-1 耐用期間.....	22
8-2 耐用期間とは.....	22

本書は、CONPAL2(以下 CONPAL ユニット)についてご説明しております。

歩行車本体に関する警告・注意などは記載しておりませんので、ユーザーへお渡しの際は、取り付けを行う歩行車本体の取扱説明書を別途ご準備ください。

前半(3～11 ページ)はユーザー向け、後半(12～22 ページ)は販売業者向けで構成しております。

ユーザー向けの前半では、ユーザーに伝えていただきたいことを記載しております。

歩行車本体の取扱説明書にこの内容を記載していただき、必ずユーザーに伝わるようにお願いします。

なお、本書では説明上わかりやすいように、一部形状や色を変更しております。

※「**CONPAL**」は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。

【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容

1-1 注意事項

安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みになり、取扱い上の警告・注意や製品の特徴などをよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。

正しい取扱いに関する必要事項を、シンボルで表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、 死亡 または、 重傷 にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、 傷害 にいたる可能性または、 物的損害 の発生が想定される場合を示しています。

1-2 ご使用前

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニットを安全に使用するために、使用前に日常点検(P7)を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。
点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります

以下のことをしないでください

- ・ CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットを落とさないでください。
部品が壊れて転倒するおそれがあります。
- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ CONPAL ユニットに油やグリースを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ご使用の際には必ず使用者の体調を確認し、安全に使用できるよう十分注意してください。
- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

1-3 ご使用場所(場面)の注意



警告

以下のことをしないでください

- ・ 急勾配の坂道では使用しないでください。
十分な抑速ブレーキ力がでず、転倒のおそれがあります。
- ・ 滑りやすい路面(濡れたり砂の積もったマンホール(鉄板)、動く歩道、積雪や凍結した路面、カーペット等)では使用しないでください。
タイヤがスリップして抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ 雨天時は使用しないでください。
完全な防水構造ではないため、内部に大量の水が入り、抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。



注意

以下の場所では、十分に注意して使用してください。

- ・ 溝や段差の多い場所
- ・ 水たまりや泥のあるぬれた路面
- ・ 砂、砂利道

1-4 ご使用時



警告

以下のことをしてください。

- ・ 歩行車から離れる際や、車体に座る際には必ず駐車ブレーキを使用してください。
歩行車が動き出し、転倒するおそれがあります。抑速ブレーキは加速を抑えるブレーキであり、車体を完全に止めることはできません。
- ・ 踏切やエレベーターなどの溝がある場所には、溝に対して CONPAL ユニットが直角になるように侵入し、溝にはまり込まないように十分注意して歩行してください。
重大な事故のおそれがあります。
- ・ センターキャップは必ず取り付けた状態で使用してください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
外れている場合は、販売店にご連絡ください。

以下のことはしないでください。

- ・ 抑速ブレーキ力の調整はしないでください。
抑速ブレーキ力の調整を誤ると、転倒するおそれがあります。ブレーキ力の調整が必要な場合は、販売店にご連絡ください。
- ・ ユニット耐荷重を超えるような使用はしないでください。
部品への過負荷により使用中に破損し転倒するおそれがあります。

1-5 修理、点検時

警告

以下のことはしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ センターキャップは外さないでください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ グリースや油は絶対に入れないでください。
十分なブレーキ力が得られず転倒するおそれがあります。

1-6 保管時

警告

以下のことをしないでください。

- ・ 水がかかる場所や、雨風にさらされる場所での保管はしないでください。
錆による動作不良のため、転倒するおそれがあります。
- ・ 車のトランクやダッシュボードなど、高温になる場所には保管しないでください。
樹脂やタイヤの変形による動作不良のため、転倒するおそれがあります。

以下のことをしてください。

- ・ やむなく水がはいった場合は、以下のことをして抑速ブレーキ力が回復することを確認してから使用してください。
 1. 前後に5、6回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。

注意

以下のことをしないでください。

- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

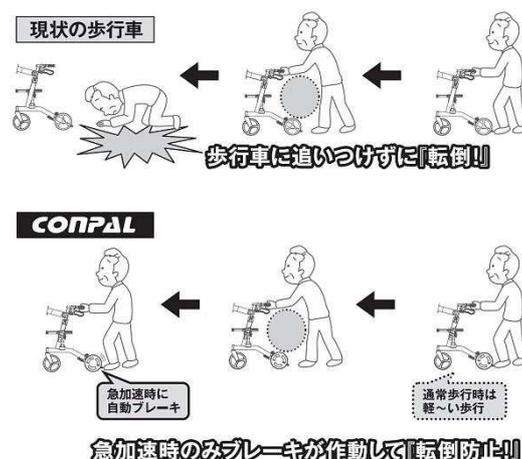
2 機器の特徴と各部の名称

2-1 機器の特徴

CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、歩行車に取り付けることにより、急加速時に自動でブレーキが作動して、歩行車での転倒リスクを低減します。

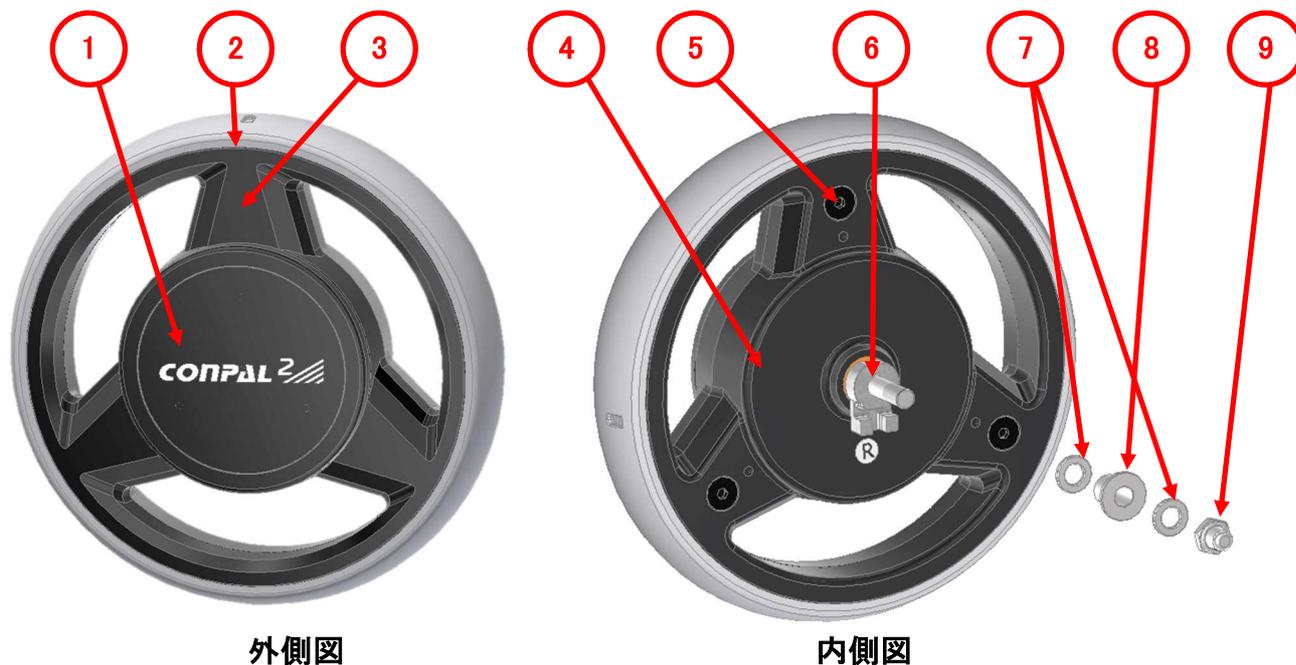
また、従来の抵抗器とは異なり、急加速時のみブレーキが作動しますので、通常の歩行ではブレーキがかからずスムーズに歩行ができます。

CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、加速を抑えることができるブレーキであり、歩行車を完全に止めることはできませんので、歩行車から完全に歩行者が離れてしまったときなどは転倒するおそれがありますので、ご注意ください。



2-2 各部の名称

図 1



No.	名 称	備 考
1	センターキャップ	
2	タイヤゴム(黒)	
3	ホイール(外側)	
4	ホイール(内側)	
5	ホイール取り付けボルト	3本使用(M6×25) ※ニッセイテクニカ社 NEO 加工
6	アダプタ	
7	ワッシャ	2個
8	ブッシュ	
9	本体取り付けナット	(袋 U ナット M8)

3 日常の点検とお手入れ

3-1 日常点検

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニットを安全に使用するために、使用前に日常点検を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。
点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります
- ・ 利用環境や歩行能力に変化があった場合は、販売店にご連絡ください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。
また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下の日常点検を行うことで、商品をより安全にお使いいただくことができます。

問題がある場合は販売店にご連絡ください。

No.	点検内容	点検箇所・項目	確認方法	チェック欄
1	タイヤゴムやホイールにひび割れや変形はないか？	タイヤゴム ホイール(外側・内側)	目視・触指により確認	
2	タイヤゴムが磨耗し、スリップサインが消えていないか。	タイヤゴム	目視により確認(P8 参照)	
3	抑速ブレーキ力が足りない/強すぎるなどはないか？	CONPALユニット	運転確認	
4	使用時にこすれ音や異音はないか？	CONPALユニット	運転確認	
5	コンパルユニットにガタつきがないか。	CONPAL ユニット	目視・触指により確認	
6	センターキャップが取り付けられているか。外れやすくなっていないか。	センターキャップ	目視・触指により確認	

3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法

タイヤゴムが摩耗して、交換時期になっていないか確認します。

右図のようにタイヤゴム表面には溝があります。(4箇所)

この溝が、左右のどこか1つでも見えなくなっている場合は
タイヤゴムの交換時期です。

使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

図 2



⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。
ハンドブレーキが左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ タイヤゴムの溝が 2~3 か月以内の早期になくなる場合は、CONPAL ユニートを引きずった状態で使用している可能性がありますので、以下の(1)~(3)をご確認の上、ご対応ください。使用中の過負荷により部品が破損し、転倒するおそれがあります。

タイヤゴムが早期摩耗している場合の対応

(1) 抑速ブレーキ力の調整

ブレーキ力が強すぎる可能性がありますので、安全に支障のない範囲で
ブレーキ力を弱めに再調整する必要があります。

抑速ブレーキを調整する場合は、**お買い上げの販売店にご連絡ください。**

(2) 速度を抑えた走行

歩行速度が速い程、タイヤのスリップが生じやすくなります。

一般のコンクリート、アスファルト面では、時速 3.2km 以下の速度が目安です。

石畳など、路面の凹凸が大きな場所では、特に速度を落として使用してください。

※時速 3.2km は、おおよそ 90cm を 1 秒程度で歩行する速度になります。

(3) 定期点検

異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し**速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。**

また、異常がない場合でも 1 年毎の定期点検をしてください。

3-3 お手入れ



警告

以下のことをしてください。

- ・ やむなく CONPAL ユニット内部に水が入った場合は以下のことを行ってください。
 1. 前後に 5、6 回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。
- ・ 乾燥させる場合は 60°C以下で行ってください。
60°Cを超えると樹脂部品が変形し転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 水、油、石鹼水、クリーナーなどを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

日常のお手入れ

- ・ 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- ・ 汚れがひどい場合は水を含ませ強くしぼった布で拭いてください。

4 おかしいなと思ったら

4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら

警告

以下のことをしてください。

- ・ 異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります。
- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPAL ユニットに水、油、石鹼水、クリーナーを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

各状況に応じて、以下の内容に沿って調べてください。それでも直らない場合は、販売店にご連絡をお願いします。

状況	調べること	処置
CONPAL ユニットが ロックされたままになっている	歩行車の駐車ブレーキが 作動したままになっていませんか？	歩行車の駐車ブレーキを解除してください。 駐車ブレーキが解除状態でもロックする場合は、すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。
抑速ブレーキの利きが悪い または利き方に左右差がある	-	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。
異音がする ※	車輪の軸に何か挟まっていますか？	挟まっているものを取り除いてください。 解消しない場合には、販売店にご連絡ください。
CONPAL ユニットが大きく振れる	ボルト・ナットが緩んでいませんか？	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。

※ 抑速ブレーキ作動音…CONPAL ユニットの抑速ブレーキ機構は摩擦式の為、こすれるような音が多少発生します。
また、その音は気温や温度などの環境によって変化します。

5 諸元

5-1 製品仕様

寸法	車輪外径 ϕ 204mm 車輪幅 35mm
重量(一輪)	1.1 kg (調整用六角レンチを含まない)
ユニット耐荷重(荷物含む)※	100 kg (4輪の歩行車につけた場合)
抑速ブレーキ力	1m 降下する時間が 2.5 秒以上 (歩行車:重量約 6.5kg の 4 輪歩行車、抑速ブレーキ力:強、坂道角度:8°)
速度調整	4 段階 歩行速度の上限設定 強:1.2km/h /中:1.8km/h /弱:2.6km/h /微弱:3.2km/h
保管温度	-25~70 °C

※ 最大使用者体重については、別途最終製品で耐荷重を評価の上設定をお願いいたします。

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

5-2 適合品

折りたたみ式歩行車	ジェミノ M	KZ-325100
	ジェミノ L	KZ-325200

【販売業者向け】

本書の前半部に、ユーザー、販売業者向け合わせた内容を記載しております。
本ページ以降の記載内容に加えて、必ずご確認ください。

6 販売業者向け内容

6-1 取り扱い時



警告

以下のことをしてください。

- ・ コンパルユニット取付け後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ ボルト、ナットは規定トルクで締め付けてください。
使用中に部品が脱落し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットのアダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
車輪が外れ転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットの左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 部品を交換する際は、指定の部品以外は使用しないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。



注意

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

6-2 定期点検

日常点検とお手入れ (P7)を確認して、ユーザーへの点検の依頼と合わせて販売業者でも定期的に点検を実施してください。

6-3 歩行車との取り付け方法

警告

以下のことをしてください。

- 本体取り付けナットは緩み防止剤を塗布したうえで指定の締付トルクで締めこんでください。
CONPAL ユニットが外れて、転倒するおそれがあります。
- アダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
CONPAL ユニットが外れ転倒するおそれがあります。
- CONPAL ユニットは左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキ力がかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- CONPAL ユニットの落下を防止してください。
部品が破損し転倒するおそれがあります。

フレームに取り付ける場合

- ① ホイール内側の左右識別シールで、取り付け方向を確認します。(図 3)
(センターキャップ内の識別番号からも取り付け方向は確認できます。(図 4))
- ② フレームの内側からブッシュを差し込みます。(図 3)
- ③ CONPAL ユニットの車軸に、ワッシャ(2 個)をそれぞれ所定の位置に取り付けます。(図 3)
- ④ ③の CONPAL ユニットの歩行車外側からフレームの掘り込みにアダプタがしっかりとハマるように取り付けます。(図 5)
- ⑤ CONPAL フレーム内側から車軸に新品の本体取り付けナット(ロックタイト243(または248)を塗布したものを)、取り付け規定トルク(15±10%Nm)で締め込みます。
- ⑥ はみ出したロックタイトをふき取ります



図 3

この掘り込み部分にアダプタをはめる

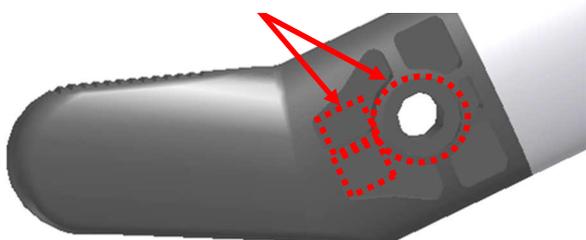


図 5

文字表記と取り付け方向

Rの場合:

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

Lの場合:

歩行車後方から見て、“左”に取り付けてください。

取り付け例 図3の場合

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ 車軸のネジ部は取り付け前に脱脂洗浄をしてください。なお、保管条件によっては多少の錆が発生する場合がありますが安全上の問題はありません。サンドペーパー(#1000 程度)で軽く擦ると取ることが出来ます。

図 4



⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ ロックタイトは本体取り付けナットのネジ部の奥から2~3山まで塗ってください。緩み止め効果が得られず、転倒するおそれがあります。
- ・ 必ず新品の本体取り付けナットを使用してください
本体取り付けナットを再利用すると、使用中にゆるみ転倒するおそれがあります。

6-4 抑速ブレーキ力調整方法

▲ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 抑速ブレーキ力は必ず販売店や療法士の方が、使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。
抑速ブレーキ力と使用者の運動レベルの不一致により、予期せぬ転倒につながる恐れがあります。
- ・ 調整後、センターキャップは必ず取り付けられた状態で使用してください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は、左右同一に調整してください。
抑速ブレーキ作動時に直進せず、転倒するおそれがあります。

▲ 注意

以下のことをしてください。

- ・ センターキャップはコインやマイナスドライバーを使用して外してください。
爪で外そうとすると、怪我をする恐れがあります。

以下のことをしないでください。

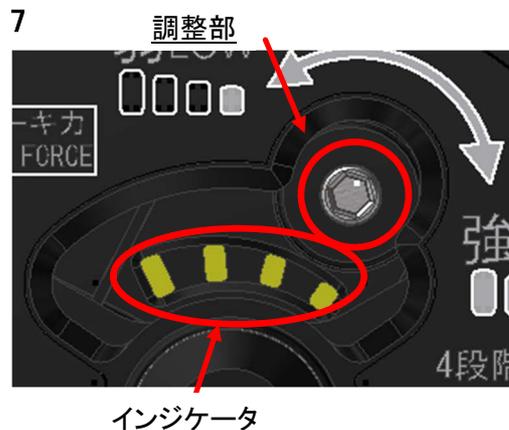
- ・ 調整窓に指を入れしないでください。
指をはさんで、怪我をする恐れがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力の調整範囲(4段階)を超えて、レンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

- ① 歩行車に取り付けた状態のまま、CONPAL ユニットのセンターキャップを取り外します。(図 6)
- ② CONPAL ユニットの回転させ、調整窓と調整部の位置を合わせます。(図 6)
- ③ 調整部の六角穴に、付属の六角レンチを差込みます。
- ④ 六角レンチを調整部に入れて、インジケータの調整レベルを変更することで、抑速ブレーキ力の調整を行います。(図 7)抑速ブレーキ力 微弱、弱、中、強 それぞれの調整位置は図 8～図 11 を参照してください。
- ⑤ 調整が完了したら、六角レンチを取り外し、センターキャップを取り付けます。
- ⑥ 左右の CONPAL ユニットともに、同じ強さの抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 6



図 7



⚠ 注意

以下のことをしないでください。

- 市販の六角レンチは使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。付属の六角レンチは長い方だけ差し込めるように、意図的に深く曲がっています。
- 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

図 8



抑速ブレーキ力:微弱
(歩行速度: ~3.2km/h)

図 9



抑速ブレーキ力:弱
(歩行速度: ~2.6km/h)

図 10



抑速ブレーキ力:中
(歩行速度: ~1.8km/h)

図 11



抑速ブレーキ力:強
(歩行速度: ~1.2km/h)

⚠ 警告

以下のことをしてください。

- 抑速ブレーキ力は通常歩行速度より早い速度で歩いた時に働くように調整してください。
使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
タイヤが早期に摩耗する際は抑速ブレーキ力が強すぎることがあります。(P8)

6-5 タイヤゴムの交換方法

警告

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴム交換後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。
ハンドブレーキが左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ タイヤゴムの交換作業は、必ず CONPAL ユニートをフレームに取り付けた状態で行ってください。
作業中の部品の脱落により、正しく動かず転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ホイール取り付けボルトは規定トルクで締めこんでください。
部品が脱落して、CONPAL ユニートが破損するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れしないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。

タイヤゴム交換をおこなうときは、指定の部品（別売）を左右分ご用意ください。

タイヤゴム交換方法①

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴムの交換は、CONPAL ユニットとブレーキパッドと車体などと指を挟まないよう十分注意して行ってください。
- ・ タイヤゴムを取り外す際に道具を使用する場合は、道具の使用によるけがや道具の破損またはそれによるけがに十分注意して行ってください。

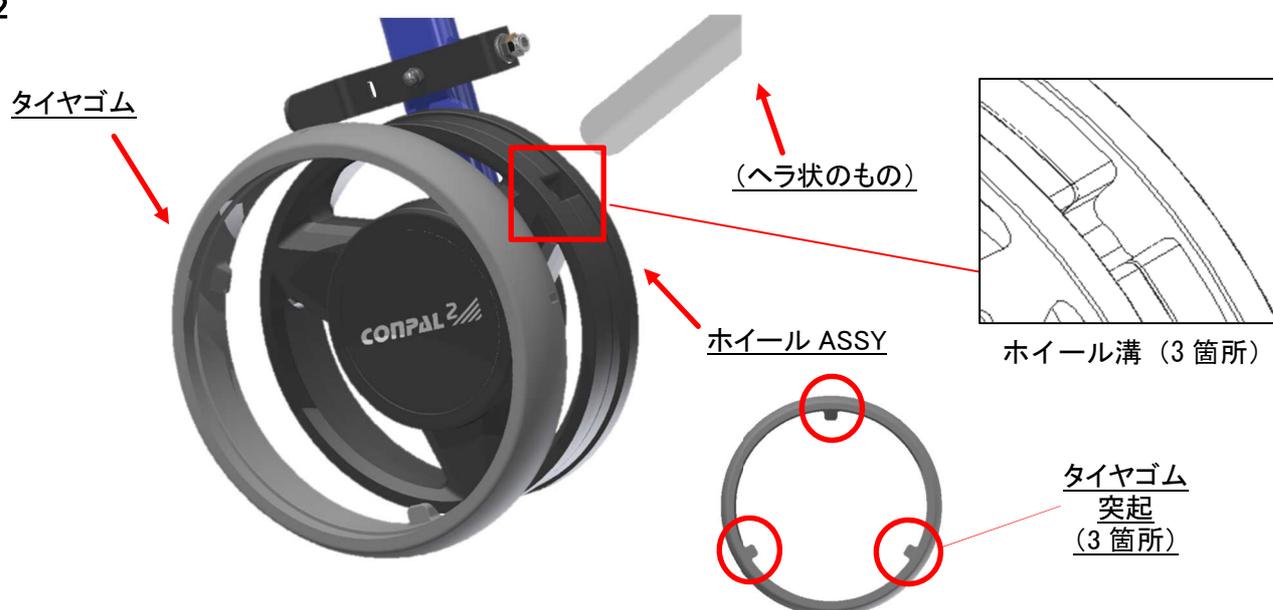
① CONPAL ユニートを歩行車に装着した状態で、ホイール ASSY からタイヤゴムを外します。(図 12)

タイヤゴム取り外す際は、へら状のものを使用していただけると簡単です。

② 新品タイヤゴム突起を、ホイール溝に合わせて取り付けます。

③ 左右の CONPAL ユニットともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 12



タイヤゴム交換方法②

- ① CONPAL ユニートを歩行車に装着した状態で、ホイール取り付けボルト 3 本を緩めて、ホイール(外側)とタイヤゴムを外します。(図 13)
- ② 新品タイヤゴムの突起を、ホイールの溝に合わせて取り付けます。(図 14)
- ③ ホイール(外側)をホイール(内側)に合わせて取り付けます。
- ④ 交換用タイヤゴムに付属している、新品のホイール取り付けボルト 3 本を規定トルク(2.6±10%Nm)で締めます。
- ⑤ 左右の CONPAL ユニートともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 13

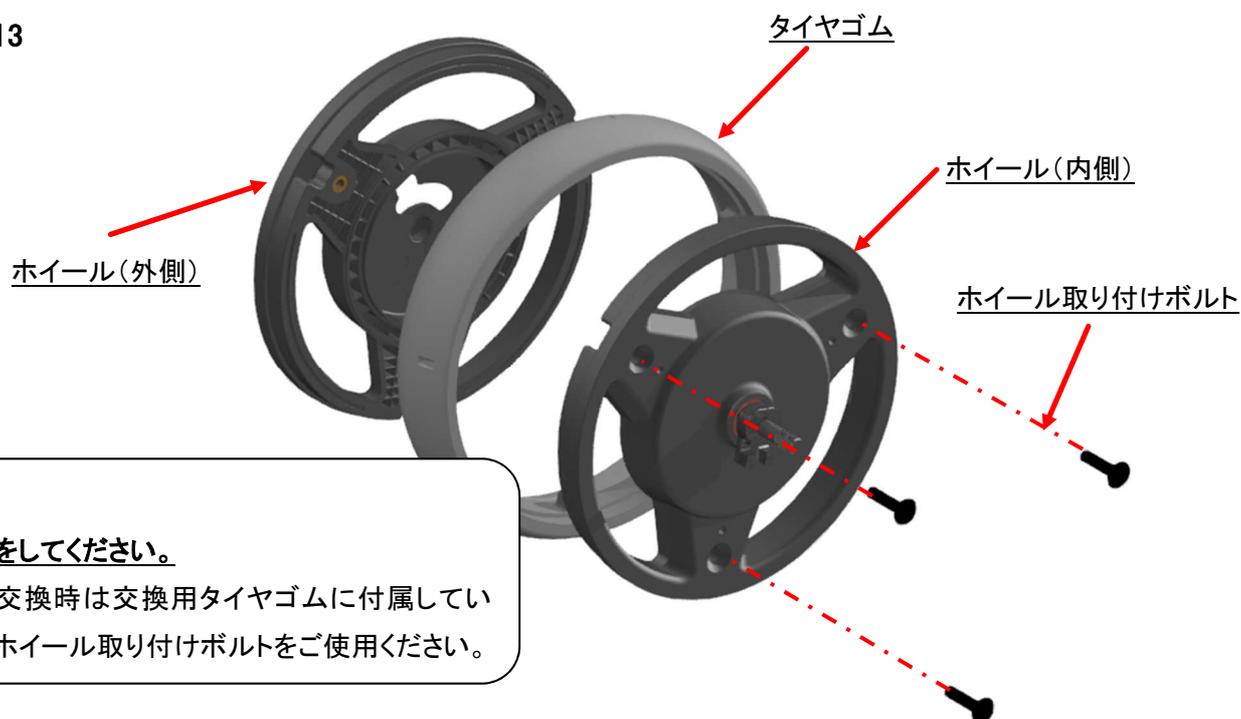


図 14



⚠ 注意

以下のことをしてください。

タイヤ交換後、正しくついているか確認してください。

横から見た図



上から見た図



7 保証とアフターサービス

7-1 保証規定

本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

本製品が保証期間内に自然故障をした場合は、無償で修理いたします。

ただし、以下の場合は保証期間内であっても、無償修理の対象外とさせていただきます。

- ア) 取扱方法の誤りによる故障
- イ) 落下・圧迫・衝撃などによる故障
- ウ) 手入れ不良による故障
- エ) 製品の分解、または改造による故障
- オ) 専用の部品以外を使用した場合
- カ) 自然災害など、外的要因による故障
- キ) 消耗品や、各部の劣化による故障および損傷
- ク) 仕様・性能の限度を超える使用をした場合
- ケ) お買い上げ日、販売店情報が確認できない場合

7-2 免責事項

- ・ 弊社は、本書記載の警告若しくは注意に違反して又は一般的に要求される注意を尽くさずにユニットを取付けられたことなどによる一切の損害(本製品の損傷、人の生命、身体又は財産の損害を含みますが、これらに限りません。以下同じです。)について責任を負いません。
- ・ ユニット供給先様は、本書記載の警告若しくは注意に違反して又は一般的に要求される注意を尽くさずに取り付けなどがされたことによる一切の損害の賠償責任、費用負担から弊社を保護し、免責するものとします

7-3 ご注意

- ・ 本製品は、本書に記載されている警告と注意を熟読し、かつ、全て遵守してください。
- ・ 利用者の急激な体調の変化、利用者側の事情や誤使用により、事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本製品の故障、またはその使用により生じた直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 一度ご使用になった商品は、原則として返品あるいは交換いたしません。

7-4 修理を依頼される時

- ・ パラテクノコールセンターまでご連絡ください。
フリーダイヤル:0120-54-8639 受付時間 平日 8:00~18:00
土・日・祝日 9:00~17:00(年始は休業します)

8 耐用期間について



注意

- ・ 耐用期間を超えた場合は、計画的にできるだけお早めに更新してください。
耐用年数を超えて使用は故障が起きやすくなる可能性があり、転倒など重大な事故に繋がるリスクとなります。

8-1 耐用期間

本製品の耐用期間は5年です。(タイヤゴムは消耗部品のため対象外です。)

8-2 耐用期間とは

耐用期間とは、当社指定の条件下において、当社指定の保守点検が実施されることにより、本製品の安全性が維持できる標準的な使用期間のことです。

- ・ 実際の使用状況や保守点検によって耐用期間は異なります。あくまでも目安とお考え下さい。
- ・ 耐用期間は、本製品の保証期間ではありません。
本製品の保証期間については7-1をご確認ください。
- ・ 耐用期間経過後であっても、本製品の修理依頼を直ちに排除するものではありません。ただし、本製品の状態によっては修理しかねる場合もございますので、予めご了承ください。

Nabtesco

製造元

ナブテスコ株式会社

住環境カンパニー 福祉事業推進部

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町 35

TEL: (078)-413-2724 FAX: (078)-413-2725

営業時間 : 8:45~16:45(土日祝休み)

ホームページ: <https://mobilityassist.nabtesco.com/>

販売元

パラマウントベッド株式会社

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎ (03)3648-1111 (代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎ (03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎ (011)271-1181 (代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎ (022)239-5211 (代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎ (048)878-0100 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎ (042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎ (052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎ (06)6443-8791 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎ (082)293-1311 (代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 223-1	☎ (087)881-8900 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎ (092)461-1131 (代)

営業時間 : 9:00~17:00 (休業日/土・日・祝日・夏季休業日・年末年始)

ホームページ: <https://www.paramount.co.jp>

※ 記載内容や仕様などは、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

お買上げ日		年 月 日
販売店	店名	〒 _____ ☎ ()
	住所	

お買上げ日、販売店情報が確認できない場合は保証の対象外となります。お買上げ日、販売店情報が確認できる領収書などを、大切に保管してください。